

## 第272回 五月雨登校になってきた時の対応

フリートーク

世古 不登校の初期の時って親御さんはハラハラしてしまうと思うのですが、早めに具体的にどう対処したらいいかを教えていただけたらと思います。

伊藤 五月雨登校って週に何回か登校することだよね。

まず、大事なことはなぜ五月雨登校になってしまったのかを突き止める必要がありますよね。物事には必ず、原因があって結果がある。五月雨登校になった結果がある。

そこを探すこと。まず学校の先生に話を聴く。でも、その前に本人に話を聴く。友達が〇〇ちゃんが嫌だから行きたくないとか、部活が厳しすぎてレギュラーになれないから面白くない。そんな感じでクラスに入るとバツが悪くて行くのが苦手になったり、色々な理由があるわけですよ。

例えば完全に学校に行きたくないとか原因を探すとしたら、きっかけがあるはず。

人間不信とか。人間不信っていうのは子供の世界でもあるわけです。今まで仲良かった友達がいきなり今日から話さなくなったとか、先生が冷たくなったとか、きっかけが出てきたとする。そうすると人間不信が出てくる。家に帰って「私は学校に行っても寂しいんだ。友達とやり取りして仲良しだと思っていたけど、実は仲良しだと思ってくれないみたい。」というような理由を親に話してくれれば、親もそれに対して答えるとか、根回しも出来るじゃないですか。先生に協力してもらったりね。

こういうのって愛情。そこに親をあてにしていなかったら親を信じていない。信頼関係がなかったら言わないじゃないですか。

僕も親御さんからお子さんの不登校について相談を受けた時、何が何だかわからないうちに不登校になった。本人もわからないって、わからないわけじゃないじゃないですか。色々理由があるはず。わからないって親に言ったら、あんたら親の事もわからないっていうのと一緒です。これは親子の危機です。

本当に子供が親を信頼していれば頼るじゃないですか。親や先生、友達とかにね。

五月雨登校になってしまうということは、友達を信じていいのかな、先生を信じていいのかなって。帰ってお母さんに言いたいけど髪を振り乱して働いているからこんなこと言ってしまうと迷惑じゃないかなって思うわけです。

昔、不登校の子の座談会で子供達が言っていました。不登校をお母さんに言おうっていう雰囲気がなかった。一番印象的な言葉は「こんなことを言ったらお母さんに申し訳ない」って言う子がいたんだよ。

世古 気を遣っているってことですよ。

伊藤 不登校の子は大なり小なり寂しがり屋。周りに自分を愛してくれる人がたくさんいない

と自立できないんですよ。コントロールできないんです。お母さん、お父さんに言えない雰囲気醸し出している。そういう感じになると子供は、クラスメイトに対して、期待を寄せるわけです。学校での勉強は付録みたいなものです。

友達に会えるのが楽しみなんです。そのついでに勉強をしようという子供も多いはず。家に帰ってきたらおやつが置いてあって、お母さんは18時、お父さんは20時に帰ってくる。兄弟とゲームをして待ってればいいけど、一人っ子は寂しいよね。寝て起きて子供達は8時間くらい学校にいて、じゃあ家にいる時間はどれくらい？家にいる時間で親御さんと話す時間はどれくらい？それを考えた時に、小さい頃から信頼関係を築いていないとだめなんです。親を信じなくなってしまう。親をあてにしない。それが学校に行くと、友達もできない、先生も聞いてくれない、あてにしてくれないとなったら寂しくなってしまうよね。その最初の出だしが五月雨登校なんです。その五月雨登校の最初は必ず具合が悪くなる、お腹が痛くなったり、頭が痛くなっ

り。貧血がおきたり体調が悪くなったり、そういう時にお母さんが会社を休んで一日一緒にいてくれるのか。そこを試しているんですよ。

世古 子供は学校を休む罪悪感ってあるんですか？

伊藤 あるんですよ。だから一日休んだら次の日に行きづらくなってしまいます。3日ぶりに行ったら友達が「お前来たんだ」てぶっきらぼうに言われて、本当は心配してたんだよっていうことなのに勘違いしてしまっている。

世古 勘違いしちゃったんですね。

伊藤 そういう子は本当に繊細だから。お腹が痛いからって、学校を早退してきたらこの3日間が大事なんです。3日間、お母さんは仕事を休んでください。って僕はいつも言います。ちゃんと付き添ってあげれば治りますから。この3日間を怠ると、1週間続きます。五月雨登校の怖いところは、いつでも行けばいいんだって。行ける時に行けばいいんだって感じになって、周りの先生もあの子は違うからってちょっと違う目でみてしまう。あの子は小学校から学校に来なかったからって。優しく言っているわけじゃなくて、あの子はおかしいからっていう目で見てるように僕は思ってしまうわけだよ。小学校の先生なら学校にこられるようにやりなさいよって思ってしまうよね。

お父さんとお母さんと相談しながらやりなさいよってね。

昔不登校のお家に行ったら、その時に担任の先生が来てくれていてお母さんに聞いた毎日来てくれると。その子は中3から学校に行けたんだよ。その代わり同じ担任の先生でお願いしますって言っていたね。

本来学校の先生はこういう感じなんだよ。

簡単にいうと、親との信頼関係が薄くても友達が信じられれば自分に自信がつく。人間

は人によって形成されていくもの。人と人が絡み合わないと。

どんなつまずきがあっても3日間は大事に抱え込まないといけない。五月雨登校をどうしたら？っていうのだったら、まだ期待はあるからその期間もしお母さんが仕事をしていたら少し休暇をとって寄り添ってください。

お父さんは仕事をなるべく定時で帰宅してください。それが出来なかったら交換日記をしてもらいたい。(今日どうだった?)とかね。

世古 面と向かって言わなくてもいいからってことですね。

伊藤 血の繋がる愛情を出してもらいたいってことですよ

世古 そのSOSにとことん寄り添う事が大事ですね

伊藤 3日間以内にやってもらいたい。何か月か五月雨登校になっていたら1週間会社を休むとかね。不登校になってからお母さんは子供に言うんですよ。

「お母さん、会社辞めた方がいい？」って。そういうお母さんは会社を辞めたくないわけですよ。辞めるよって言うお母さんは辞める決心がついている。

会社を辞めていいとか、そんな選択は子供にさせては絶対にだめです。